

平成26年 3月 5日
教育振興部教育指導課

平成25年度いじめ防止実践事例発表会 報告

1 日 時 平成26年1月27日(月) 16:00~17:00

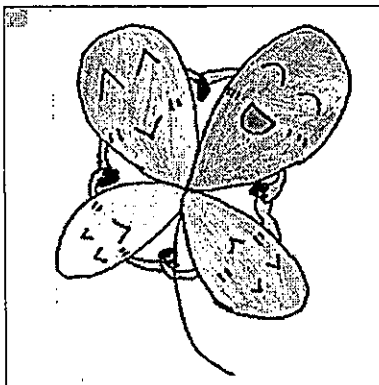
2 場 所 練馬区立練馬文化センター 小ホール

3 参加者

(1) 来賓・登壇者	6人
(2) いじめ防止シンボルマーク表彰児童生徒	30人
(3) いじめ防止実践事例発表児童生徒・一般児童生徒	16人
(4) 幼稚園教員	7人
(5) 小学校教員	72人
(6) 中学校教員	46人
(7) 地域・保護者	122人
(8) 教育委員会事務局	16人
	315人

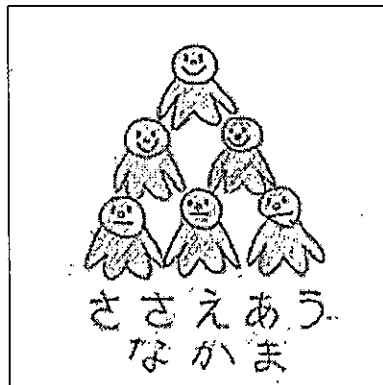
4 次 第

- (1) 練馬区教育委員会あいさつ 河口 浩 教育長
(2) 練馬区子供いじめ防止シンボルマーク表彰および紹介



【小学校1・2・3年生の部】

開進第二小学校3年 木下 青葉



【小学校4・5・6年生の部】

豊玉南小学校5年 杉浦 由加子



【中学校の部】

大泉桜学園7年 並木 景

(3) いじめ一掃取組月間 「学校(園)奨励賞」表彰

- ・光が丘あかね幼稚園
- ・練馬第三小学校
- ・谷原中学校
- ・開進第四中学校
- ・豊玉第二中学校グループ(豊玉第二中学校・豊玉第二小学校・豊玉東小学校)

(4) いじめ実践事例発表

①授業・保育部門

- ・光が丘あかね幼稚園

絵本「いじめだよ」の読み聞かせから、教師と幼児で話し合いを行った。「自分が楽しくやったことも相手を嫌な気持ちにさせる」など、相手とのかかわりを考えさせている。

- ・練馬第三小学校

「いじめ防止標語」等を通して、全校でいじめ防止の取組を行っている。学校独自で「みんななかよし」というチェックリストにて、毎月児童の行動の振り返りの機会を設定した。

②児童会・生徒会部門

- ・谷原中学校

「学校全体のつながりを深めること」を目的に生徒会役員と委員会が中心となって活動を行っている。「人とのつながりを豊かにすること」を大切に、いじめを未然防止する取組を充実している。

- ・豊玉第二中学校グループ(豊玉第二中学校・豊玉第二小学校・豊玉東小学校)

代表委員と生徒会役員が「小中いじめ撲滅意見交換会」を開催し、いじめ防止シンボルマークの紹介およびいじめに対する取組を報告し合い、話し合った。3校連携でメッセージカードを作成し、そのメッセージを3校で交換している。

③保護者・地域との連携部門

- ・開進第四中学校

管理職とPTA役員がいじめ一掃プロジェクトの内容を協議し、携帯電話やスマートフォンの利用状況等を調査し結果を基に懇談会を行った。保護者が生徒の実態を把握し、認識を高めている。

(5) 講評

堀田 直樹 教育指導課長

(6) 記念撮影

平成25年度

練馬区いじめ防止実践事例発表会

平成26年1月27日

練馬区教育委員会

平成25年度 練馬区いじめ防止実践事例発表会 次第

1 日 時 平成26年1月27日(月) 16時00分～17時00分

2 会 場 練馬文化センター 小ホール

3 式次第

(1) 開会

(2) 練馬区教育委員会あいさつ 河 口 浩 教育長

(3) 登壇者紹介

(4) 練馬区いじめ防止シンボルマーク表彰

(5) いじめ一掃取組月間「学校(園)奨励賞」表彰

(6) いじめ実践事例発表

①授業・保育部門

②児童会・生徒会部門

③保護者・地域との連携部門

(7) 講評 堀 田 直 樹 教育指導課長

(8) 閉会

※ 記念写真撮影

『平成25年度 練馬区いじめ防止シンボルマーク』表彰児童・生徒一覧

「小学校1・2・3年生の部」

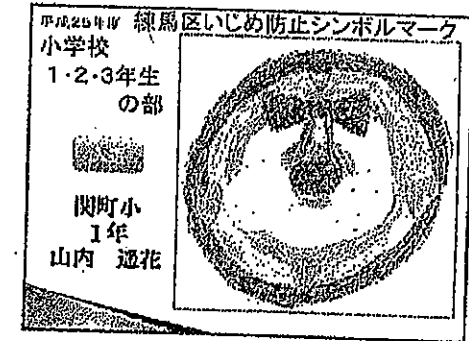
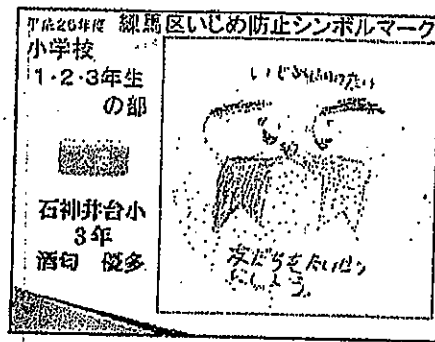
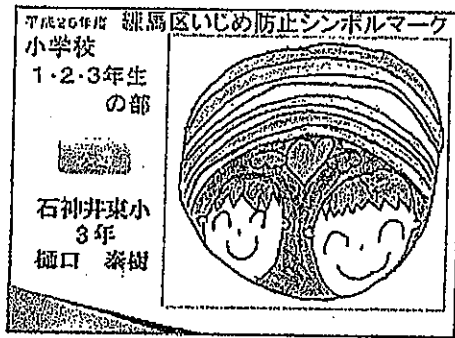
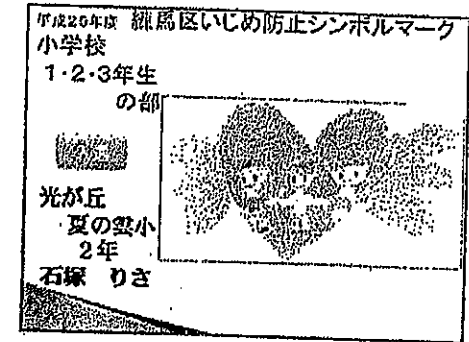
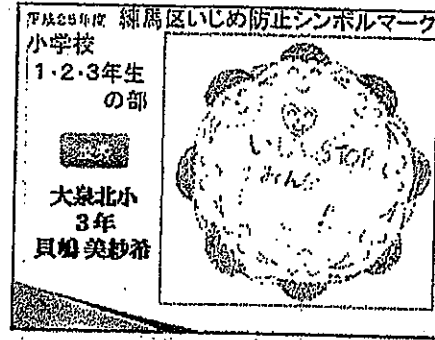
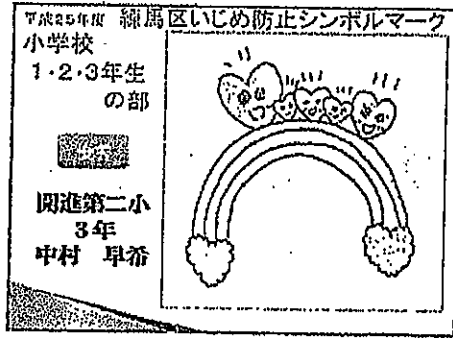
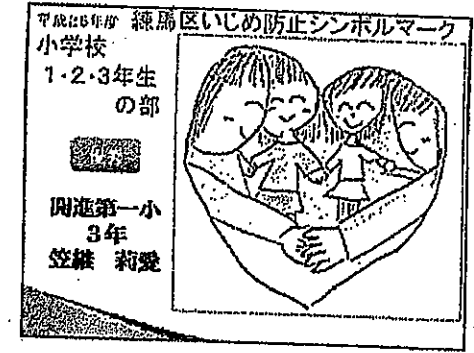
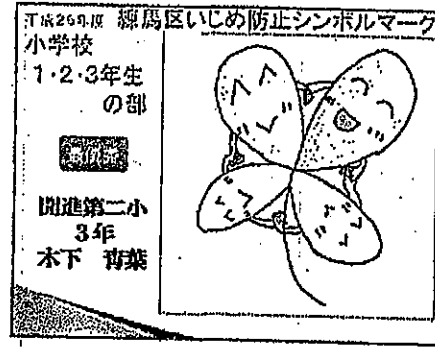
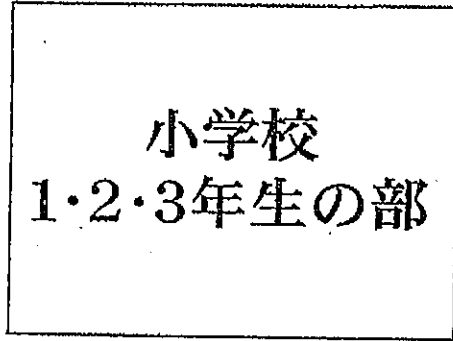
	学校名	学年	氏名	ふりがな
最優秀	開進第二	3	木下 青葉	きのした あおば
優秀	開進第一	3	笠継 莉愛	かさつぐ りあ
優秀	開進第二	3	中村 早希	なかむら さき
優秀	大泉北	3	貝嶋 美紗希	かいじま みさき
入選	光が丘夏の雲	2	石塚 りさ	いしづか りさ
入選	石神井東	3	樋口 泰樹	ひぐち たいき
入選	石神井台	3	酒匂 優多	さこう ゆうた
入選	関町	1	山内 遥花	やまうち はるか
入選	大泉第三	3	中岡 杏菜	なかおか あんな
入選	富士見台	2	榎本 菜奈	えのもと まな

「小学校4・5・6年生の部」

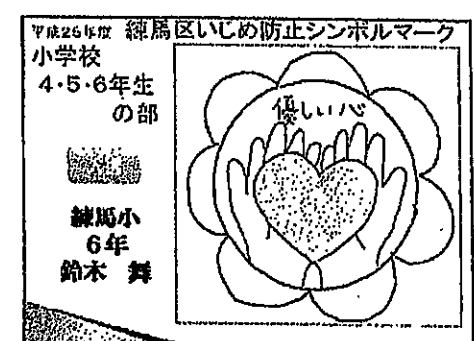
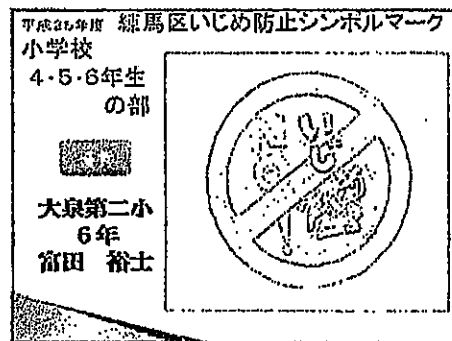
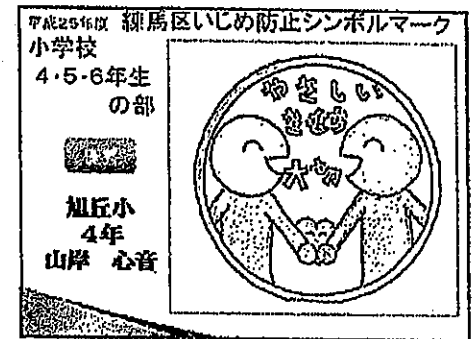
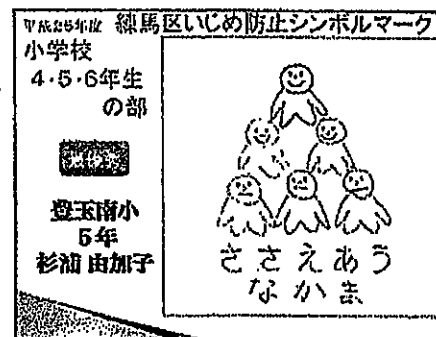
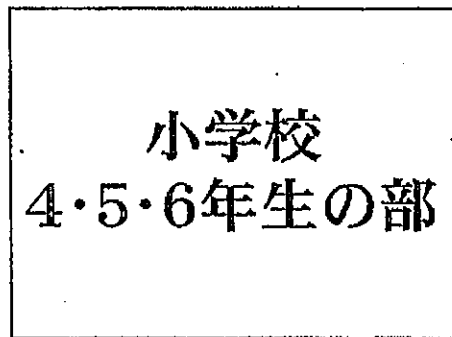
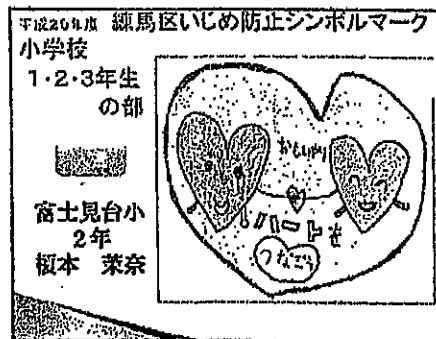
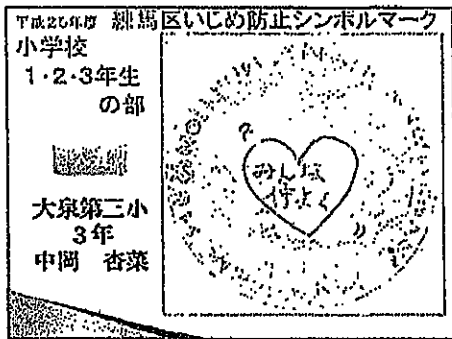
	学校名	学年	氏名	ふりがな
最優秀	豊玉南	5	杉浦 由加子	すぎうら ゆかこ
優秀	旭丘	4	山岸 心音	やまぎし ここね
優秀	大泉第二	6	富田 裕士	とみた ゆうと
優秀	大泉学園緑	5	金山 楽	かなやま らく
入選	練馬	6	鈴木 舞	すずき まい
入選	練馬東	6	加藤 雄太	かとう ゆうた
入選	田柄	5	古屋 すずな	ふるや すずな
入選	向山	5	志田 来海	しだ くるみ
入選	谷原	4	古水戸 早紀	こみと さき
入選	南が丘	5	三橋 奏子	みつはし かなこ

「中学生の部」

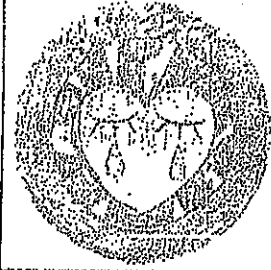
	学校名	学年	氏名	ふりがな
最優秀	大泉桜学園	7	並木 景	なみき けい
優秀	田柄	3	藤井 遥香	ふじい はるか
優秀	上石神井	2	細川 真由	ほそかわ まゆ
優秀	大泉第二	3	荒関 雪菜	あらせき ゆきな
入選	開進第二	3	小林 秀美	こばやし ひでみ
入選	大泉	2	山本 純平	やまもと じゅんぺい
入選	大泉	2	内藤 睦	ないとう むつみ
入選	大泉第二	2	長島 伊都	ながしま いと
入選	大泉西	3	武井 海都	たけい かいと
入選	関	2	中尾 清香	なかお さやか



平成25年度練馬区いじめ防止シンボルマーク受賞作品一覧



平成25年度 練馬区いじめ防止シンボルマーク
小学校
4・5・6年生
の部




練馬東小
6年
加藤 雄太

平成25年度 練馬区いじめ防止シンボルマーク
小学校
4・5・6年生
の部



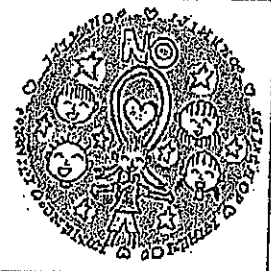
田柄小
5年
古屋 すすな

平成25年度 練馬区いじめ防止シンボルマーク
小学校
4・5・6年生
の部



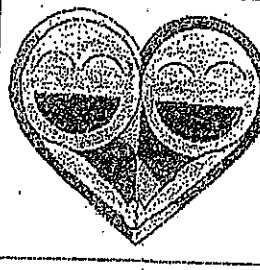
向山小
5年
志田 来海

平成25年度 練馬区いじめ防止シンボルマーク
小学校
4・5・6年生
の部



谷原小
4年
古水戸 早紀


平成25年度 練馬区いじめ防止シンボルマーク
小学校
4・5・6年生
の部



南が丘小
5年
三橋 爽子


中学生の部

平成25年度 練馬区いじめ防止シンボルマーク
中学生の部



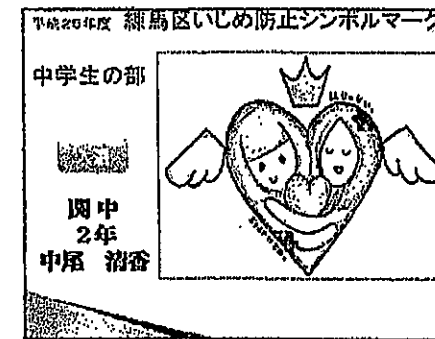
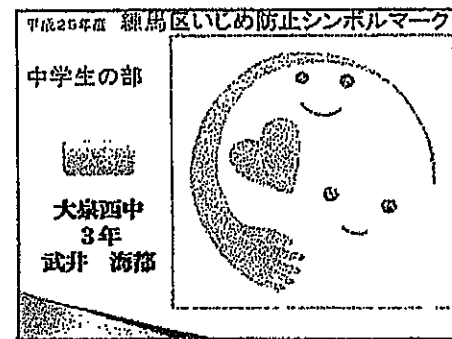
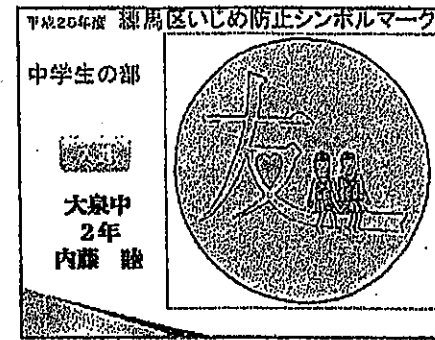
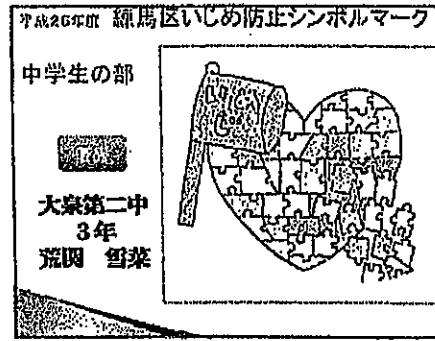
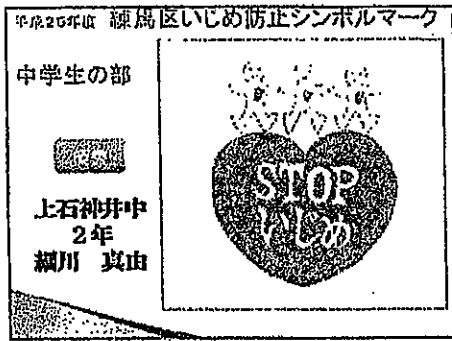
大泉桜学園
7年
並木 景

平成25年度 練馬区いじめ防止シンボルマーク
中学生の部



田柄中
3年
藤井 遥香

平成25年度練馬区いじめ防止シンボルマーク受賞作品一覧



いじめ防止実践事例概要

<気になる幼児の姿> 年長5歳児12月
自分は楽しく遊んでいて、友達が困っていることには気付かない姿が見られた。



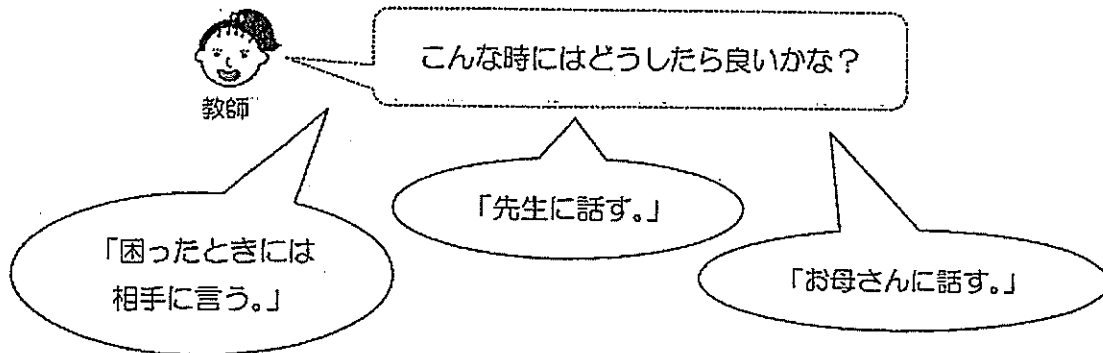
<教師の願い>
自分が楽しいと思って言ったり、やったりしていたことで友達が嫌な気持ちになることがあることに気付いてほしい。



客観的な視点で相手の思いに気付くようになってほしいと願い、フランチェスコ ピトー作 絵本「いじめだよ」を教材として使用する。

<絵本の読み聞かせによる事例>

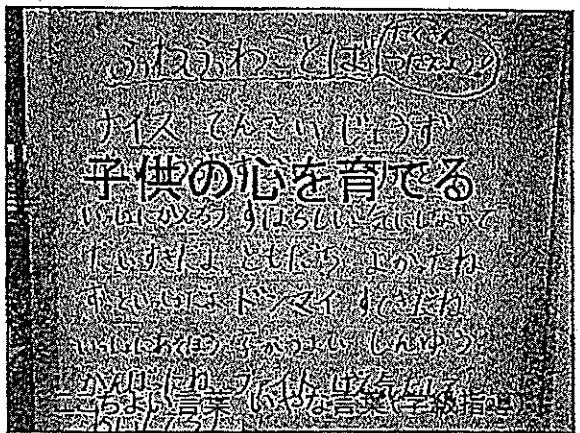
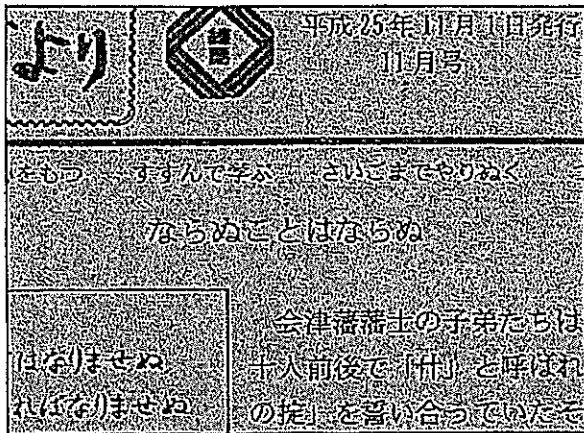
- ・絵本の冒頭に出てくる文章の「自分が楽しくやったことも 相手を嫌な気分（気持ち）にさせることがある」という部分や「木の枝をむやみにポキン！ いじめだよ」「ちょうちょのはねをむしるのは いじめだよ」など、今までにあったエピソードに近い部分の内容等をピックアップして読み聞かせ、幼児と話し合いをする。



- ・幼児は自分なりの思いを伝える姿が見られた。他にも「友達が困っていることに気付いたら助けてあげる。」「友達が嫌だなと思うことはしない。」などいろいろな意見が出ていた。
- ・学年全体に話をしたことで、友達の発言に刺激を受けたり、いろいろな考え方があることを知ったりすることもでき、自分が楽しくてやったことも相手を嫌な気持ちにさせることがあるということに気付いた幼児もいた。

<今後の課題>

自分が嫌な気持ちになったときに、いろいろな方法で相手や周囲に伝えることができるということや、伝えることの大切さを今後も機会を捉えて繰り返し知らせたり、気付かせたりしていきたい。



項目	内容
1	いじめ防止の目的
2	いじめ防止の目標
3	いじめ防止の取組
4	いじめ防止の体制
5	いじめ防止の意識
6	いじめ防止の教育
7	いじめ防止の相談
8	いじめ防止の対応
9	いじめ防止の連携
10	いじめ防止の評価

- ・校内支援委員会で児童の様子を掌握し、必要に応
- 3. いじめを発見した場合の対応
 - (1) 対応の手順
 - ① 事実確認 (該当児童双方への聞き取り等)
 - ② 保護者への連絡・周知
 - ③ いじめの制止に向けた指導
 - ④ いじめを受けた児童・保護者への支援
 - ⑤ いじめを行った児童に対する指導またはその保
 - (2) 校内の体制
 - ・校内支援委員会で対応を協議し、学校全体で情

谷原中学校のふれあい月間の取り組み

谷原中学校のふれあい月間では「学校全体のつながりを深めること」を目的に、生徒会本部役委員や委員会が中心となって様々な企画を実施しています。

現在、谷原中学校には、通常級 318 名・特別支援級(F組)16 名の計 338 名が通っています。通常級の生徒も、普段授業などで一緒になることの少ない F 組の生徒も、学年やクラスを越えたつながりが深まるようにと、全員が参加できる企画を考え、実行してきました。

下の表は今まで生徒会が行ってきた企画の一覧です。谷原中学校全体のつながりを深め、少しでもいい学校にしようと、一生懸命活動しています。

<企画一覧>

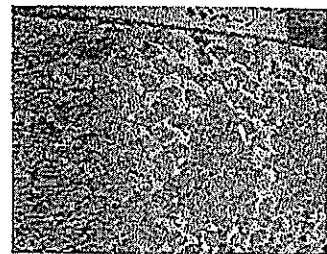
5 月	・全校フラフープくぐり大会(生徒会)
6 月	・やわらの輪を広げようキャンペーン(運動会)(給食保健委員会)
9 月	・あいさつ運動週間(生徒会)
10 月	・昼休み全校ドッチボール大会
11 月	・やわらの輪を広げようキャンペーン(文化発表会)(給食保健委員会) ・あいさつ運動週間(生徒会) ・F組さんとのじゃんけん列車(生徒会)
1 月	・あいさつ運動週間(生徒会)
2 月	・F組さんとの交流給食 ・やわらの輪を広げようキャンペーン(言われて嬉しかった言葉)(給食保健委員会)
3 月	・ありがとうを届け Y0! の会(3年生を送る会)(生徒会)



じゃんけん列車



あいさつ運動



やわらの輪を広げよう

<これからのふれあい月間の取り組みについて>

谷原中学校のつながりをより一層深めていくために、より多くの生徒が意欲的に参加したいと思える企画を工夫していきたいと思えます。また、F組さんや先生方などの意見も広く取り入れて、生徒だけではなく谷原中学校にかかわるよりいろいろな立場の人とも交流ができるような企画も考えていきたいです。

これからもふれあい月間を通じて、形だけの“交流”ではなく、学年・クラス・学級などのさまざまな垣根を越えた、みんなが「谷原中学校の一員」と思えるようなふれあい月間を実施していきたいと思えます。



第1回小中いじめ撲滅意見交換会

1月12日(土)13時30分から、豊玉二小と豊玉東小の5・6年生の代表委員と豊玉二中の生徒会役員とで、いじめ撲滅意見交換会を行いました。それぞれの学校のいじめに対する取り組みを報告し、今後、3校でどのようにいじめ防止に取り組んでいけるかなどを話し合いました。どの学校も積極的に意見を出し合い、充実した意見交換会となりました。



3校それぞれのいじめ撲滅宣言と特色ある取り組みを発表して情報を共有



豊二中からはいじめレーダーチャートの分析を発表し、連携について提案



各校の取組や児童会と生徒会の今後の連携の提案について意見をまとめる



3校共通のいじめ撲滅宣言の作成と今後の連携の具体案について活発に意見交換



根拠を明確にして論理的に意見を発表し、それをしっかりと聞いて受け止める姿が素晴らしいですね。これからも児童会と生徒会が連携して、問題解決に取り組んでいきましょう。私たちも応援します。

3校の取組

- 標語をポスターにして掲示したり、朝礼でいじめ撲滅宣言を紹介したりして、全校にいじめ撲滅を呼びかけました。
- あいさつ運動は心をつなぐとても良い活動です。
- 学校生活についてのアンケートが役立ちました。

「いじめレーダーチャート」3校で連携して取り組んでいきます。

「あなたはどこからがいじめだと思えますか?」…「誰の誰に対する言動か」について、具体的な言動とその重みを軸にして意識調査をしました。いじめに重い軽いはありません。日ごろの言動をあらためて反省する良い機会となりました。さらに改良していじめ撲滅に役立てていきます。

自分が誰かにする言動



【豊玉第二小学校いじめ撲滅宣言】

- ゆう気をだして、ちゃんとだめだよって言う
- とめようよ、見ているだけで 同じいじめ
- 自分がされていやなことは 人にはしない
- ほかは人のきもちを かんがえる
- 一人ぼっち たすけてあげよう いますぐに
- 友だちを思いやって 手をさし出そう
- いじめはね やられてしまうと治らない
- 助けてくれる人はいる そう、まだ ほくらが付いている
- それは あなたがいじめじゃないと思って あの子はいじめと 思っているんだよ
- いじめられている人にそっと一言 「私は味方だよ」と言うだけで 少しは楽になるのではないかな 気付いていたら「味方」になれるような 強い心を身につけたい

3校共通いじめ撲滅宣言

やめようよ いじめをしても 見ているだけでも 同じだよ 気付いてあげて あの子なりのSOS

【豊玉第二中学校いじめ撲滅宣言】

- その子の顔がいつもと違うよ 気付いてあげて あの子なりのSOS
- 見てるだけ? 大丈夫? って聞いてあげて
- 気付いてる? 身近にかくれたいじめの芽
- 言葉とは、人を傷つける道具ではありません
- 「学校は楽しいよ」その一言は本当ですか?目と目を見て話してください それか子どもを救います



【豊玉東小学校いじめ撲滅宣言】

- やさしいところが 一ばんつよい
- 仲間なんだから なかよくしようよ
- いじめられたらすぐに宮おう「大じょうぶ」
- その子をいじめてどうするの?
- やめようよ いじめをしたら つらくなる
- まわりに広がるまえに 見たら止めよう
- 手と口が出たら そこで君の負け
- 一人が喜ばばみんな喜ぶ 少しでもいいから声かけよう
- 最初に遊びのつもりでも 自分のしたことがきっかけで いじめになるかもしれない
- いじめとは にくしみだけの かたまりだ

第2回小中いじめ見意見交換会

1月11日(土)14時30分から、豊玉二小と豊玉東小の5・6年生の代表委員と豊玉二中の生徒会役員とで、昨年度に引き続き「いじめ見意見交換会」を開きました。今年度はそれぞれの学校のいじめ防止のシンボルマークの紹介やいじめに対する取組を報告し、今後3校でどのようにいじめ防止に取り組んでいけるかなどを話し合いました。

3校で連携するいじめ防止の取組

3校でいじめをなくすためのメッセージを集め、交換し合って掲示しましょう。メッセージのテーマは、「友達に言われてうれしい言葉」です。「ハート」や「校章」などの形を使って、全校児童・生徒にメッセージを書いてもらい、学校ごとに1枚の合紙に貼ります。こうして作成したメッセージを3校で交換し合いながら校内に掲示して、いじめのない学校にしていきたいと思います。



豊玉二小

- 5・6年生を中心とした挨拶運動
- 全校の週目標
- たて割班編成



週目標の取組では、代表委員が集まって各クラスの反省を出し合い、学校全体の目標を毎週決めていきます。「言葉づかいに気を付けて」や「互いに声をかけ合って」など相手を傷つけないようにしようという目標になることもあります。

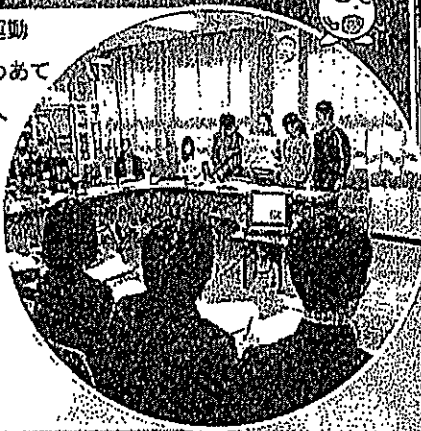
週目標

「言われて心があたたかくなる言葉」
 どうしてしよう
 豊玉東小では、全校児童が学校生活で感じた善い出来事や「善い」を伝えるハピネスボックス等のカードを作成しようとしています。



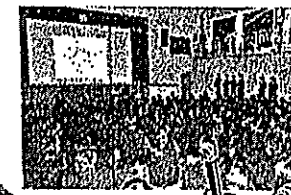
豊玉東小

- 毎朝あいさつ運動
- 年間の学校のめあて
- 行事ごとの個人目標の掲示



あいさつ運動では、代表委員が毎朝あいさつ運動をしています。「ただ挨拶する」のではなく、「〇〇さん、おはようございます」のように名前をつけてあいさつしたり、目を合わせて挨拶したりして、一人一人を大切にしたい取組をしています。

アンケートの分析・呼びかけ
 といじめ防止シンボルマークの紹介



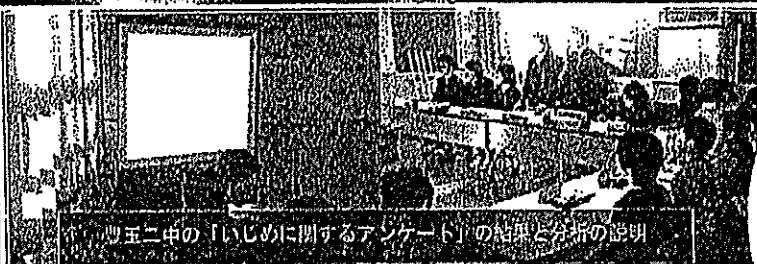
○いじめに関する全校アンケート

○生徒会朝礼での呼びかけ

○生徒会新聞

豊玉

いじめに関する全校アンケートを実施し、生徒と学級委員が中心となって分析した結果と改善のための呼びかけをしました。一週間後に再度アンケートを行い、結果を生朝礼や生徒会新聞でしました。



豊玉二中の「いじめに関するアンケート」の結果と分析の説明



メッセージのテーマやカードのデザインについて活発にいじめ見意見交換

【意見交換会を終えて】

- 豊玉二小代表委員から
 「豊東小、豊玉二中のいろいろな活動を知ることができて有意義でした。どちらの学校の取組もとてもよいと感じました。今後、豊玉二小でも取りたいと思います。メッセージ用紙についての話し合いでは、豊玉二小の事情を考えて別の案を提案してくれてうれしかったです。」
- 豊玉東小代表委員から
 「参加した全員が協力して話し合いができました。提案の理由にそった意見を交わすことができてよかったです。各学校のいじめ防止の実践ができてよかったです。これからの豊玉東小での取組の参考にさせていただきます。」
- 豊玉二中学生会から
 「どちらの小学校の実践もすばらしく、中学校でも引き継いで実践していこうと思います。たくさんの発言が建設的に出されたので、話し合い

＜インターネットを通じたいじめの未然防止に向けた取組＞

練馬区立開進第四中学校

校長 松丸 晴美

PTA 会長 福澤 薫

1 はじめに

「いじめ」は、人権侵害であり、絶対に許されない行為である。しかし、大人の目につかないところで行われ、遊びやふざけ合いを偽装するなど、巧妙に行われることが多い。しかも、昨今はラインやツイッターなど、インターネットやメールを利用したいじめなど、短時間で深刻な状況に陥りやすい上に、匿名性が高く実態を把握することが困難なケースが増加し、大きな課題となっている。

いじめは、どの子にも起こりうることであり、本校の保護者からも「もしも、我が子がいじめられる側、いじめられる側になった時、親としてどうしたらよいか困惑している」といった声が聞かれている。そこで、学校と PTA 役員会が連携し、本校の生徒の実態を把握し、その実態をもとに、PTA 交流懇談会の開催や保護者・生徒への広報活動などを通して、いわゆる「ネットいじめ」の未然防止に向けた取組を行うこととした。

2 本校の取組のねらい

- ① いじめの早期発見・未然防止、解消に向けて、学校と保護者が一体となって取り組むための活動や啓発を PTA 役員会と連携・協力して推進する。
- ② 今年度は、最近のインターネットやメールを通じた「いじめ」の未然防止のための取組を計画し、保護者への啓発をするとともに、取組を通して、我が子と共通の話題をもち、「ネットいじめ」の防止の一助とする。
- ③ PTA 活動の充実・活性化。今、話題のテーマを取り上げることによって、大人には見えにくい中学生（我が子）の実態について、アンケート資料を参考に互いに懇談することを通して、家庭でのしつけの参考とする。

3 取組の流れ

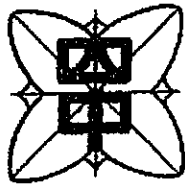
- (1) 今年度の、「保護者と連携した練馬区いじめ一掃プロジェクト」の取組内容について、PTA 役員と管理職で協議する
- (2) PTA 役員会で、取組内容を企画し、校内企画調整委員会で検討する
- (3) 生徒アンケートの項目の検討（PTA 役員、生活指導部）し、実施する（朝学活）。
- (4) PTA 役員会で、アンケート集計と分析を行う
- (5) アンケートをもとにした、保護者懇談会を実施する（PTA 主催）。
- (6) 学校だより、PTA 実行委員会だより（共に、学校ホームページに掲載）で保護者・地域への広報・啓発する。
- (7) 全校朝会での生徒への講話・指導と PTA 役員会から紙面による生徒への結果報告
- (8) 今年度の取組に対する PTA 役員会、教職員による評価を行う。

4 保護者・生徒の感想

PTA 会長より、口頭報告

◇資料

- ・学校と PTA が連携して実施した取組の概要
- ・学校だより（掲載ページの抜粋）
- ・PTA 実行委員会だより（掲載ページの抜粋）
- ・生徒への配付資料



学校だより

11月号

～ 架け橋 ～

平成25年11月19日
練馬区立開進第四中学校
校長 松丸 晴美

「インターネットの光と影」

ある日、朝の通勤電車の中で、携帯電話やスマートフォンなどの画面を見ている人を数えて見ました。車両に乗り合わせた20人中、8割にあたる16人が利用していました。

私も、携帯電話を持って出勤しないと不安になるほど、今ではこの便利な道具のない生活は考えられないのですが、子供たちの携帯電話やスマートフォンなどの使用の在り方が大きな社会問題になっていることも見過ごすことができない悩ましい問題と考えています。

平成21年に文部科学省がインターネットによるいじめや有害サイトへのアクセスなどによる被害があとを絶たないことから、「携帯電話の学校持込を原則禁止する」という異例とも言える通知を出しましたが、被害が減少するどころか「ツイッター」「ブログ」「プロフ」「ライン」「フェイスブック」など、インターネットにまつわる新たなトラブルも増えています。

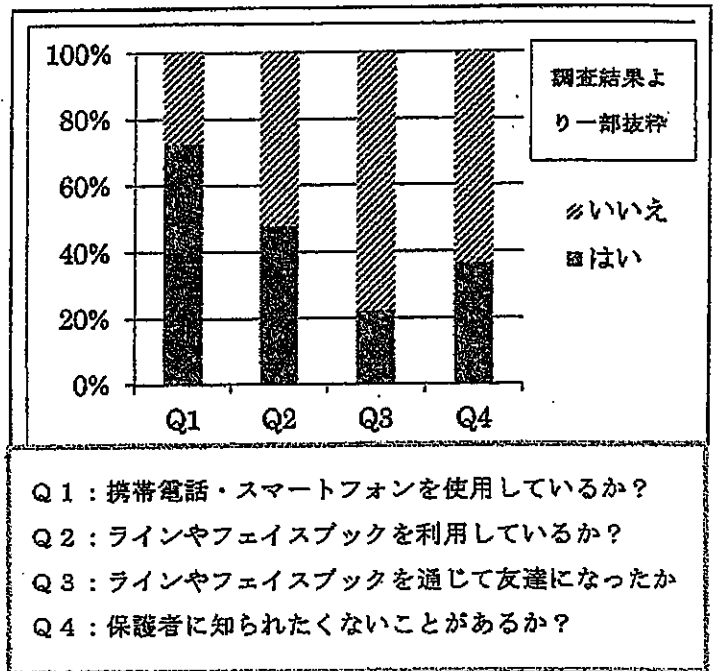
学校では、携帯電話等を持ってくることを禁止していますが、ご家庭で購入して持たせることまでは禁じていません。大人が思っている以上に、携帯電話等の様々なツールを利用してコミュニケーションを図る子供たちですが、判断力はまだまだ未熟なところから、悪意がなくても加害者になったり、犯罪に巻き込まれたりすることも少なくありません。

学校では、情報モラル教室を始め、様々な機会に、インターネットに潜む危険性や好ましくない使い方などについて指導をしていますが、契約者である保護者が子供の使い方を管理しにくい点に課題があると言えます。

現に、ある高校生が悪意なく「ライン」を使って、自分の仲間だけに「不適切な写真」

を送ったところ、流出し、保護者が莫大な金額の損害賠償を請求された事例もあります。

11月9日(土)に、本校PTAが主催し「今どきの中学生のコミュニケーション事情」というテーマで、生徒に協力してもらったアンケート調査の結果を基に懇談会を開きました。



- Q1: 携帯電話・スマートフォンを使用しているか?
- Q2: ラインやフェイスブックを利用しているか?
- Q3: ラインやフェイスブックを通じて友達になったか?
- Q4: 保護者に知られたくないことがあるか?

参加した保護者からも様々な悩みや意見がでましたが、私が一番驚いたのは「ラインやフェイスブックで友達になった見知らぬ人と実際に会ったことがある」と答えた生徒が13%もいたことです。

インターネットや携帯電話等は、上手に使うと私たちの生活に役立つ大変便利な道具ですが、一歩使い方を間違えると大きな事件やトラブルになる可能性もあります。

保護者の皆様は、お子様のインターネットや携帯電話等の活用状況をどの程度ご存じでしょうか?上記の結果を話題にして、今一度、インターネットや携帯電話等のマナーや使い方について話し合う機会をもち、各ご家庭のルールを確認していただきたいと思います。

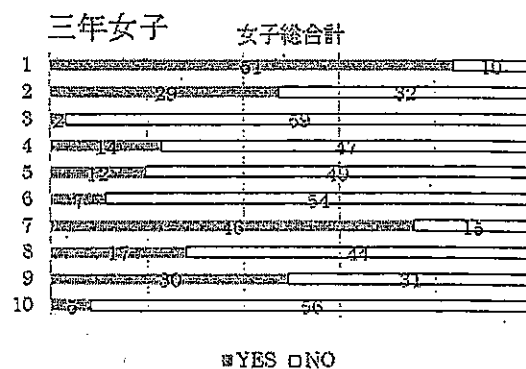
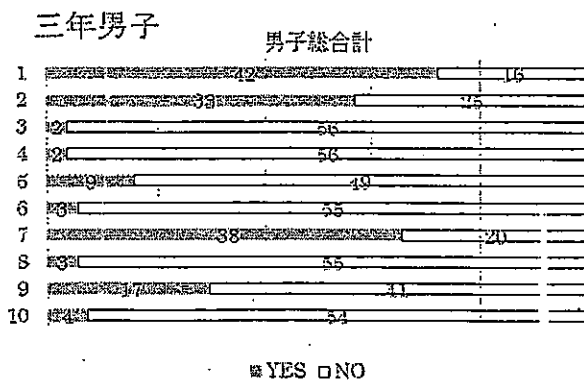
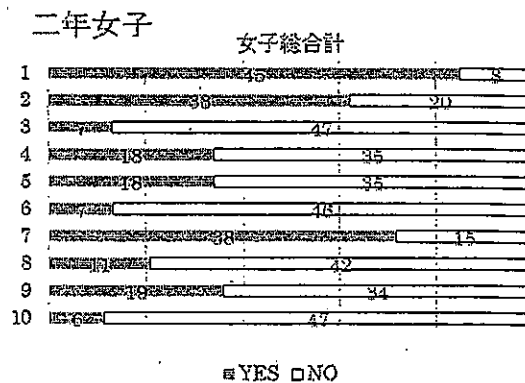
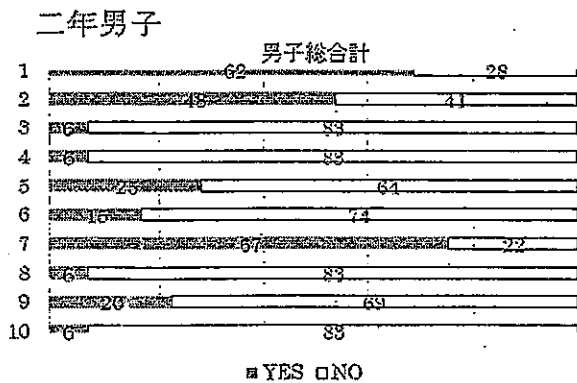
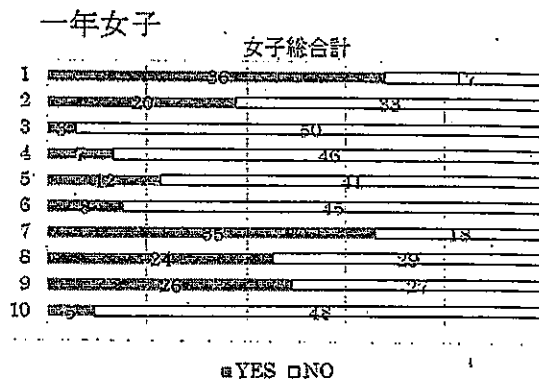
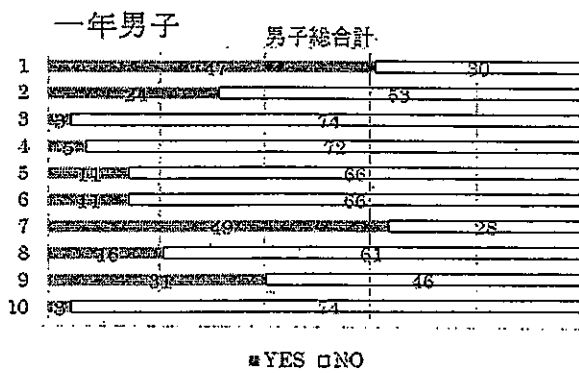
生徒諸君各位

YES・NO アンケート 結果発表★

アンケートの協力ありがとう！

保護者も今の中学生の事が少しわかりました。大人と子ども、なんでもいいあえるようになるといいなと思います。(=^・^=)

- 1 携帯電話、スマートフォンは使用していますか。
- 2 ラインやフェイスブックなどを利用していますか。
- 3 ラインやフェイスブックなどで嫌な思いをしたことがありますか。
- 4 ラインやフェイスブックなどで嫌な思いをしている人を見たことがありますか。
- 5 ラインやフェイスブックを通じて知らない人と友達になったことがありますか。
- 6 ラインやフェイスブックで友達になった人と実際に会ったことがありますか。
- 7 悩み事があった時に保護者に相談できますか。
- 8 保護者に相談したくてもできないことがありますか。
- 9 保護者に知られたくない事がありますか。
- 10 大人に何か言いたい事がありますか。



皆から大人へ言いたい事

勉強の事ばかりじゃ
なくて私達の事をもっ
と見て欲しい！

ガラケーじゃなく
スマートフォンに
替えて欲しい……

親も「ライン」等をやっ
ているのに、子供にやめろ
と言わないで欲しい。

携帯やスマートフォンで全ての事を済ま
せるのはおかしい。人と直接話す大切
さ、コンピューターに頼らない調べ物の
仕方など、正しい使い方を子供達に教
えて欲しい。

「SNS」(ソーシャルネッ
トワーキングサービス)は
楽しいけれど、悪口で傷
ついている人がいるの
で悪口は書かないで欲
しい。

高校生以下の子供には携
帯、「Line」や「Face book」
はいらないと思う。

携帯を持っていない人
がいる等、理由をつけて
携帯を取り上げないで
欲しい。

携帯の危ない面ばかり言われ
るけど、持っている事で様々な
利点が生まれると思う。

インターネットをつ
なげて欲しい……

大人からの意見

親は「ライン」などの操作や、内容を詳しく知らない事がある。子どもが何をしているのか、知るべき。

ライングループでブロックされたりする目に見えないいじめも起こりえるので、内容は知っておきたい。

部活動の連絡はメールではなく、自分できちんと聞くべき。

携帯等。必要なときもある。すぐに取り上げるのではなく、親子で使い方のマナーやルールをきちんと決める。

今、歩きながらスマートフォンを操作し事故に遭うニュースを耳にします。危険なのでやめて欲しい。

子どもにダメと言っている事を親もしてしまう時がある。食事時のメールはしない様にする。

「sns」は利便性と危険性が表裏一体。人と人のコミュニケーション能力が衰えてしまう怖さもある。電話や会って話すことも大切。

アンケート・懇談会のご報告

11月9日にPTA主催「懇談会・コサージュ作り」を開催いたしました。

1部はグループ懇談会、テーマは『今どきの中学生のコミュニケーション事情』
事前に関四中の生徒達に無記名アンケートを実施しました。アンケート結果を基にざっくばらんに意見交換いたしました。ご参加くださいました保護者の皆様、アンケートに答えてくれた生徒のみなさん、貴重なご意見ありがとうございました。

ご参加されなかった保護者の方にも、今に関四中生徒達の声を聞いていただきたく、アンケートに対する生徒の意見と懇談会で話し合われた内容を、一部紹介させていただきます。

《生徒からの意見》

- *携帯やスマートフォンで全ての事を済ませるのはおかしい。人と直接話す大切さ、コンピューターに頼らない調べ物の仕方など、正しい使い方を子供達に教えて欲しい。
- *高校生以下の子供には携帯、「LINE」や「face book」はいらないと思う。
- *「SNS」(ソーシャルネットワーキングサービス)は楽しいけれど、悪口で傷ついている人がいるので悪口は書かないで欲しい。
- *携帯を持っていない人がいる等、理由をつけて携帯を取り上げないで欲しい。
- *親も「LINE」等をやっているのに、子供にやめろと言わないで欲しい。
- *勉強の事ばかり言わないで、私達の事をよく見て欲しい。
- *携帯の危ない面ばかり言われるけど、持っている事で様々な利点が生まれると思う。
- *ガラケーじゃなくスマートフォンに替えて欲しい。インターネットをつなげて欲しい。

《保護者からの意見》

- *親は「LINE」などの操作や、内容を詳しく知らない事がある。子供が何をしているのか、知るべき。
- *LINEグループでブロックされたりする目に見えないいじめも起こりえるので、内容は知っておきたい。
- *子供にダメと言っている事を親もしてしまう時がある。食事時のメールはしない。
- *携帯等、必要な時もある。すぐに取り上げるのではなく、親子で使い方のマナーやルールをきちんと決める。
- *「SNS」は利便性と危険性が表裏一体。人と人とのコミュニケーション能力が衰えてしまう怖さもある。電話や会って話すことも大切。
- *部活動の連絡はメールではなく、自分できちんと聞くべき。
- *今、歩きながらスマートフォンを操作し事故に遭うニュースを耳にします。危険なのでやめて欲しい。

知っていますか？

★Face Bookの自分のアドレスが公開されないようにする設定

基本設定 → 連絡先 → メールアドレスの公開範囲を変更
自分のみ → 保存する

★LINEのタイムラインの公開範囲の設定

その他 → タイムライン/ホーム → 公開範囲設定 →
公開する人を選んで非公開にチェックして設定

これからも、親子でたくさん話し合っていきたいですね(^o^)

LINE ・ Facebook を安全に使うために

アンケートの結果、携帯、スマホ、SNS を使用している生徒が開四中にも沢山いることがわかりました。

保護者も使用していると思われます。 SNS は便利で楽しいツールかもしれませんが、ルールやマナーを守れない人は大人でも使用するべきではないかもしれません。 中学生は何かおこってしまった時自分で責任を取る事は出来ません。 使用するのであれば自分のプライバシーを守る事、人を傷つけない事を理解して使用しなければなりません。

Facebook はメールアドレスが公開されています。知らない人に自分のアドレスが公開されないように設定しましょう。

基本データ → 連絡先 → メールアドレスの公開範囲を変更

自分のみ → 保存する

LINE のタイムラインなども公開範囲を設定しておかないと自分のプライベートを皆に見せる事になります。

その他 → タイムライン/ホーム → 公開範囲設定 →

公開する人を選んで非公開にチェックして設定

開四中生徒のみなさん

困った事があった時は保護者や先生、近くにいる大人に必ず相談してください。大人がうるさく言うてしまうのには理由があります。 大人達も大昔は中学生でした。 その当時の自分の経験や失敗、後悔がたくさんあるのです。

中学生の三年間を、あっという間の三年間を大切にしてほしいから。

時には大人も間違っただ事を言ったりするかもしれません。 その時は教えてください。

うるさく言う大人ほど皆さんを大切に思っている事をわかってください。

